

待降節～降誕祭、2023年

最も親愛なる姉妹の皆さま

待降節は、新しい典礼年の始まりを迎える大切な節目です。ある典礼年から別の典礼年へと移り変わるこの大切な機会に、教会は私たちに、私たちの生活、私たちが生きている価値観を見直し、私たちを取り巻く現実の中で神の呼びかけを深く生きるために、神が私たちに何を望み、何を期待しておられるのかを知るために、一時立ち止まるよう招いています。



「警戒せよ」。今年の待降節の最初の日曜日に私たちが聞いた呼びかけは、注意深く、積極的に主の到来を待ち望み、主の訪れを心から歓迎することを妨げる怠慢やあらゆる妨げと闘うよう、私たちに勧めています。私たちはどのようにこのような呼びかけを実践すればよいのでしょうか。教皇パウロ六世の使徒的勧告『聖マリアのへの信心について (Marialis Cultus)』の中で、「警戒して祈り...、よろこんで賛美をささげ」、マリアを模範として仰ぎ、やがて誕生する救い主を受け入れる準備をととのえるよう招かれています。(4.参照)

マリアの姿は、待降節とクリスマスにおいて、特別に重要な意味を持っています。なぜなら、マリアを通して、私たちが祝う主な理由が現実のものとなったからです。それは、人類が最も待ち望んでいたこと、メシアの誕生、すなわち、つつましいおとめの胎内で肉となり、それによって私たちの間に住まわれるみことばの誕生です。私たちが彼女に倣うべき点は、彼女がみことばを聞く者であり、祈る処女であり、実り豊かな母であった諸徳、すなわち、彼女の信仰、希望、そして慈愛です。

信仰。マリアは信じる女性であり、神のみことばを全面的に信頼する女性です。マリアは天使のメッセージを受け入れ、神が彼女の人生に入ることを許しました。彼女は天使の言葉に心を乱しましたが、神の計画と救いの計画に自らを開きました。マリアは神が共におられる女性であり、常に神と共にある女性です。ベツレヘムでの出来事、エジプトへの避難、十字架の下での出来事、そしてすべての人の母としての役割など、彼女は確固たる信仰をもって生きているのです。彼女は信仰深い女性であり、自分と歴史における神の働きを知っています。待降節は、私たちの神が忠実であり、決して失敗したり後戻りしたりしないことを信じて、日々、私たちの信仰を純粹に清く、強める恵みの時です。新たな信仰をもって、私たちを呼んでくださる神、私たちの現代に救いのみ業に関わってくださる神を歓迎しましょう。今日の歴史の中に神のみ業を見ることができるよう、信仰の心を持ちましょう。

希望。マリアは希望の女性です。神の約束と約束の神への希望です。マリアは絶えず希望をもって積極的に生きています。マリアは神の約束の成就に協力し、妊娠9か月の期間中にみことばが自分の胎内で受肉することを受け入れ、全身全霊で身体、血、心、仕事、休息など、自分の存在すべてをかけて神の約束を実現するのです。待降節は、神が約束を守ってくださることを信じて、私たちの希望を新たにすることを与えてくれます。戦禍に見舞われたこの世界において、新たな希望は、主の道を求める精神を強めてくれます。

教皇ベネディクト16世は、回勅『スペ・サルヴィ』の中で、希望に満ちた実践と学びのための"空間"を提案しています。その第一は祈りです。神との親密で個人的な対話の中で、私たちは耳を傾け、語りかけてくださる御父の存在と親しさを体験します。祈りの中で主とよく触れ合うことで、私たちの希望が新たに燃え上がります。

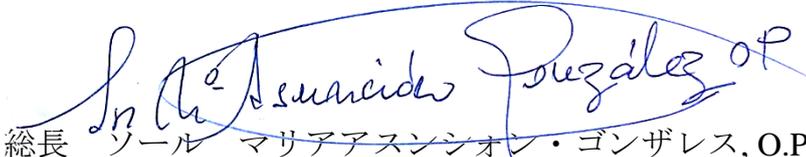
「誰も私の話しを聞いてくれないときでも、神は私の話しを聞いてくださいます。もう誰にも相談できないとき、誰にも助けを求められないとき、私はいつでも神に相談できます。もし、私を助けてくれる人がもう誰もいないならば、それが人間の能力を超えた必要や待ち望むべきものであるとき、主は私を助けてくださいます。」(32番)

慈愛。マリアは愛の女性です。神への愛、神のみこころを行う用意のある愛、自分の助けを必要とする人々への愛です。マリアは、年老いて身ごもった従妹のエリザベトを助け、カナの婚宴にいちばん良いぶどう酒をもたらすために最善を尽くし、使徒たちを母性的な存在で愛し、祈りながら聖霊の来臨を待ち望み、そして、すべての人々、特に貧しい人や苦しんでいる人に対する愛を示しました。幼きイエスの聖テレジアが悟ったように、「愛徳は決して心の底に閉じ込めておくべきではないということです。」教皇フランシスコが2023年の「世界貧しい人々の日」のメッセージの中で私たちに警告していることを思い起こしましょう。人の肌の色、社会的状況、出自にかかわらず、私たち一人ひとり隣人なのです。幻想の幸福を盾にした無関心や愚かなことを捨てるために、あらゆる貧しい人々、あらゆる種類の貧しさに出会うよう求められているのです。(No.3)。

クリスマスを迎えるにあたり、私たちが外面的なことに捉われることなく、信仰と希望と慈愛のうちに成長することができるよう、聖母マリアが私たちを助けてくださいますように。私たちのうちにすでに来てくださり、私たちの中にみ国を築き、私たちに喜びと平和と愛を満たすために再び来られようとする方のために、私たちの心に相応しい居場所を準備することができますように。

待降節、そして降誕節おめでとうございます。

姉妹的抱擁と祈りを添えて、


総長 ソール マリアアスンシオン・ゴンザレス, O.P.